

事業番号

2023 - 金融 - 22 - 0008

		令和5年度行政事業レビューシート			(金融庁)		
事業名	事業再生支援高度化事業			担当部局	金融庁監督局	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	総務課(機構担当室) 銀行第二課地域金融企画室	山崎 彩 村木 圭	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」		
政策	I 金融システムの安定と金融仲介機能の発揮			主要経費	その他の事項経費		
施策	3 金融仲介機能の十分な発揮に向けた制度・環境整備と金融モニタリングの実施						
政策体系・評価書URL	https://www.fsa.go.jp/seisaku/						
事業の目的 (5行程度以内)	地域金融機関の事業再生支援の取組みを後押しすることで、支援対象の地域企業の事業の改善等のみならず、その取引先の事業や地域の雇用の改善等を図り、地域経済全体を活性化させる。						
現状・課題 (5行程度以内)	ウィズ/アフターコロナに活力ある経済を築いていくためには、増大する債務に苦しむ地域企業の事業再生支援など、各地の地域金融機関が地域の事業者の実情に応じて支援していくことが重要である。他方、事業再生支援を進める上で必要となる知見・ノウハウは、必ずしも全ての地域金融機関において蓄積できていないため、より多くの地域金融機関に事業再生支援に係るノウハウ等を身に付けてもらう必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	地域経済活性化支援機構(REVIC)が行う、①事業再生等の現場で活用できる業種ごとの「手引き」の作成、②地域金融機関の役職員が実践力を身に着けるための研修、③事業再生等に関する周知・広報に対して補助を実施するもの。						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等	REVICが実施する事業再生支援高度化事業について、当該経費の全額を補助【補助率:100%】(※補助上限額:165百万円)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	135	30	
		令和5年度第1次補正予算				30	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	135	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 135	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	165	-
執行額(G)	-	-	-				
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	0%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)				令和5年度で事業終了とする。令和6年度においては予算要求を行わない。		
		(目)					
計(A)		-	-				

活動内容① (アクティビティ)		REVICにおいて、これまでの事業再生支援に関する業務でのノウハウ等を集約し、事業再生の基礎知識から具体的なケーススタディまでを一通り学べる事業再生の「手引き」の作成、地域交通や観光業等のケーススタディを含む地域金融機関向けの実践的な研修等を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		事業再生等に関する研修を受講した金融機関数	研修を受講した金融機関数 (のべ)	活動実績	行	-	-	0	-	-
				当初見込み	行	-	-	31	80	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		事業再生支援の知見・ノウハウの共有は一朝一夕に実現されるものではないことから、REVICがこれまで行ってきた事業再生支援に関する業務でのノウハウ等を踏まえ、様々な業種の事業者に通ずる基本的な事業再生支援の進め方に関する手引きを作成し共有するだけでは、地域金融機関が事業再生支援に係るノウハウ等を蓄積できるとは考えにくい。 このため、地域交通や観光業等のケーススタディを含む地域金融機関向けの実践的な研修を実施することで、より多くの地域金融機関が効果的に実践力を身に付けられると考えることから、事業再生等に関する研修を受講した金融機関受講者へのノウハウ共有をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
		事業再生等に関する研修を受講した金融機関受講者へのノウハウ共有	研修を受講した金融機関受講者のアンケート結果(研修内容について「概ね理解できた」以上と回答する割合)	成果実績	%	-	-	0	-	
				目標値	%	-	-	70	70	
				達成度	%	-	-	0	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		研修を受講した金融機関受講者に対するアンケートにおいて、研修内容について「概ね理解できた」以上と回答する割合を設定。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本事業は、単年度の事業であることから、段階的なアウトカムを設定することが困難であるため。								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									
事業所管部局による点検・改善										
点検結果	<p>本事業は、事業再生等に関する「手引き」の作成や金融機関向けの研修の実施等を通じて、地域金融機関による事業者支援の取組みを後押しすることで、支援対象の地域企業の事業の改善等のみならず、地域経済全体の活性化を目指すものであり、公共的な性格を持つ主体において実施されることが適当である。特に、事業再生支援に関する知見・ノウハウの共有は一朝一夕に実現されるものではない一方、コロナや物価高騰の影響を受けた事業者への支援は早急に行うことが必要であることから、国費投入の必要性は妥当である。</p> <p>また、全国各地で地域金融機関と協働し様々な業種に関する多数の事業再生等の実績があり、豊富な知見・ノウハウを有した公共的な性格を持つ主体である株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)が実施することが最適であると考えられ、支出先の選定は事業の効率性・有効性の観点から妥当である。</p>						目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)			
改善の 方向性	-									
外部有識者の所見										
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
現状通り	○効果発現経路や目標・指標の設定等について、『実施要領』及び『作成要領』の主旨をふまえているかの観点から、検討を促した。 ○引き続き、事業を実施するため、真に必要な経費について適切に予算要求を行うこと。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
予定通り終了	○効果発現経路や目標・指標の設定等について、ご指摘を踏まえ再検討を行った。 ○事業実施にあたっては、真に必要な経費となるよう適切に管理していくこととし、令和6年度においては予算要求を行わない予定。									

現時点でのイメージ図

金融庁



A.株式会社地域経済活性化支援機構

- ・事業再生等に活用可能な「手引き」の作成
- ・地域金融機関向けの研修の企画・開催
- ・事業再生等に関する周知・広報



B.〇〇株式会社

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック